

令和7年
1月から

低線量肺がんCT検診 が始まります



現在、日本におけるがん死亡率の第1位は肺がんで、年々増加傾向にあります。リスク要因として喫煙・大気汚染・年齢・遺伝等、様々ありますが、特に喫煙者が肺がん罹患するリスクは非喫煙者の**4.5倍**で、禁煙している場合でも非喫煙者と同等のリスクに低下するまで**20年以上**かかると言われています。



■ 低線量肺がんCT検診とは

肺がんは症状が出にくく、治療可能な小さな段階では、従来のX線検診で発見が困難な事があります。肺がん死亡を減少させる対策として、CTで検診を行うのが有力な方法と注目されています。CT検診による肺がんの発見率はX線検診と比較して**約10倍高い**とされています。また、発見される肺がんは**早期である比率が高く、その治療成績も良好**とされています。低線量肺がんCT検診は肺がんの早期発見率を向上させ、治療を早期に開始する事で**肺がんによる死亡を減少させる効果がある**と、全国的に注目されています。

■ この検診の特徴

検診では不必要な被ばくは避けるべきとされています。このため、診断が可能な最低限の線量で撮影を行います。この検診の実効線量は**約1ミリ・シーベルト**で、**通常行う胸のCTの1/7の被ばく線量**です。私達が1年間自然界から受ける放射線量は世界平均で約2.4ミリ・シーベルトですので、年1回の撮影であれば、無視できるレベルの被ばくの検査です。当センターでは最新の被ばく低減技術を搭載したCT装置で検診を行いますので、安心して検査を受けていただけます。

■ このような方におすすめいたします

- ① 喫煙指数※が600以上の方
- ② 喫煙の有無に関係なく40歳以上の方
- ③ 有害物質を取り扱っている方(アスベストなど)
- ④ 家族に肺がんの人がいる方
- ⑤ 肺がんが心配な方

※ 喫煙指数：1日の平均喫煙本数 × 喫煙年数

CT検診で 早期発見 助かる命



予約制 (火,水,木曜日 16:00~)

検査費用/11,000円(税込)

受付/お問い合わせ

六ヶ所村地域家庭医療センター
電話：0175-73-7122